**12月12日　未来電子テクノロジー株式会社　代表取締役・CEO　福本　真士　氏**

**問１　学んだこと、印象に残った言葉、講師へのメッセージ**

インターン生に単純作業をさせるのではなく、現場で教育し教育に投資した時間を学生にSNSで発信させることで広報資産に変えることは企業・学生双方に良いことだなと思いました。福本さんのやりたいことを全て行動に移す姿勢に驚きました。既に価値があるものと自分のやりたいことが繋がった時に現在価値があるという言葉は心を打たれました。アカウンティング的思考からファイナンス的思考に転換して、未来から現在の価値を考えるべきということを聞き、自分も無形資産をアピールするために、母数が少なく深度の深い独自の価値を創造し、相手の期待値を超えられるようにしたいです　(経済学部１年)

福本さんの経歴が本当に面白かった。リスクをコストに変えて一歩踏みだすという考えは、面白い反面、とても説得力があった。私の大学生活の目標は、今までずっと、「やりたいと思ったことを全部やる、思い立ったら即行動」だったので、福本さんの言葉がとても重く感じた。「自分のやりたいことは社会は求めてない」─。大学１年生は、自分でたてた目標をこなして、2年生からは、また違う目標を立てようと思った。（経営学部　1年）

「遊び回ってやりたいことをやっていた」とおっしゃっていたが、お話を聞くうちに、やりたいことをその場の思いつきで実行に移す決断力と思い切りの良さが、福本さんのエネルギーの凄さなのだと感じた。「自分の価値を問われた時に、過去の実績や資格によって自分の価値を算定しがちであるが、相手に自分の時間を売るときに実際に相手に与えるのはこれからの時間であって、評価すべきは未来の自分の価値である」と聞いたときに、納得した。また、自分の価値は他の多数の人と同じことが多いほど価値が割引かれてしまう。割引かれないためには、いわゆる“普通”のアプローチをやめて、自分が特別になるための道筋を探して、何か他人とは違うことをしなければいけないと思った。（経済学部　経済学科　１年）

“既に価値があるものと自分がやりたいことがつながったときに、価値が最大化する”これを聞いたとき、とても納得の気持ちがわき上がってきたように思います。考えてみれば、いくら自分のやりたいことだからといってつきつめてみても、それが周りに求められるものでなければ、ただの自己満足に終わってしまうと思います。これは、自分の価値に関してだけではなく会社や事業そのものおいても言えると思います。いくらその会社が素晴らしい技術や製品を持っているからといって、それが顧客に求められるものでなければ意味がありません。顧客の欲求を満たしてはじめてその価値が最大化して表れていくのではないかと思います。私自身も自らの価値を最大化させて、周りから求められる人間になること、そして、その価値を周りに説明できる力を身につけていくこと、そのようなことを意識して今後生活して行きたいと思います。（2年　経営学部　会計・情報学科）

将来価値についてのお話に衝撃を受けました。「私たちは経済の中で自分の現在価値を最大化しようとする」ということに非常に共感しました。実際、私は価値を最大化しようとして様々なことに挑戦しています。留学も希望しており現在勉強中なのですが、「自分の価値を上げたい」というのも大きな理由としてありました。しかし福本さんのお話を聞いて「自分が留学に本当に求めるべきものは何なのか」「その経験を無形資産としてストーリーで語れるか」という本質的な部分についての考えが甘かったことを実感しました。本質的な部分に踏み込んで真相まで到達できるように意識していきたいです。(経営学部1年)

**問２　今後のアクションに繋げていきたいこと**

学生の間にやっておくべきこことして留学やインターンなどが挙げられますが、それらを経験する学生も増えていき、今では経験したというだけでは差別化できなくなってきています。そのため他の人々がやっていない領域まで物事に取り組んで相手の期待値を超えていく必要があるので、本質まで理解することを目標として勉強や課外活動に取り組んでいこうと思いました。(理工学部　数物・電情学科　3年)

・無形資産の価値が将来につながるように行動するという認識を持つ。

・会計的考えを自己に課さない。

・リスク→コストの考えを持つ。　（経営学部１年）

自分がやっていることに自信をもつ。経済的なものと非経済的なものの共通項を見つけることを“ひとりあそび”として始めてみたいと思った。今自分が深くまで掘り込んでいけると感じているのは音楽で、それが他人ありきのものであるため、就活で何にも役に立たないなと気落ちしていた。だが、考え方をシフトすることで、それにも意味をもたせることが可能だと気づいた。１点だけでも自分が深層まで達することのできるものを就職の時期までに見つけたい。最近“できない”ことに直面することが少なく、そういう機会から逃げてしまっているので、挑戦していきたい。　（経営学部　経営学科　1年）

たとえばバイトでも指示されたこと以上のことに目を配る、そして実行する。誰もやっていない域まで物事にとりくみ相手の期待値をこえるところにたどりつくには、まず日常的に言われたことのもう一歩先までできるようになることが大切だと思う。（経営学部　1年）

「時間という」キーワードが私はとても印象に残りました。あらゆることに無駄に時間を使ってしまうことがよくあるので、自分にとって難易度の高い目標時間を設定して、自分自身の成長とともに、集中して頑張れるスキルを磨いていきたいと思いました。 (経営学部１年)

**授業スタッフの感想**

自分の将来価値を高める、という考え方が新しく、聞き入ってしまいました。自分の価値は割り引かれたりして最後に残ったものが自分の本当の価値として還元されるという考え方は確かに使える考え方だと思い、ひとつの経験をするにも意味のない経験ではなく、自分の身になるような経験をしたり、人の期待を超えるようなことをすることを心がけていきたいと思います。

今回の講演は非常に良かったです。「やりたいことをやりたい」ではなく、元々社会に存在している問題と自分の適性をマッチングさせることが大切なのだと分かりました。たまにシラバスに書かれている先生もいらっしゃるのですが、「よく学び、よく遊べ」を大切にしたいと思いました。特に「遊び」はもう少し増やしていきたいと思います。次回の講演も楽しみにしております。